

Crowded mountains can make gorillas more violent

概要

ゴリラは高い社会性をもつ動物である。このことは多くの現象に繋がっている。まず、ゴリラのグループ同士が遭遇すると争いが起こり得る。これは雄ゴリラが雌ゴリラや子を守るために、あるいは新たな雌ゴリラを手に入れるために戦うからだ。この争いの頻度は全体の個体数ではなく、その地域に住んでいるゴリラのグループの数によって決まる。そのため、ある地域に住むゴリラのグループの数が増えるにつれて、彼らの間の衝突の数は増えるのだ。次に、私たち人間はある動物の個体数が減少したとき、その動物の行動や社会的な構造がどのように集団の大きさに影響するのかはあまり考えない。しかしゴリラのような高い社会性をもつ動物であるときは考えるべきなのだ。最後に、グループのリーダー的存在であるシルバーバックというゴリラがいる。ある研究では、65頭のゴリラをまとめていたシルバーバックが死ぬと、この大きなグループも解散してしまうことが分かった。しかし私たちはまだゴリラのリーダーシップの素質を決める全ての要因を理解できていない。

語彙リスト

grooming:毛づくろいすること
dexterous:器用な
dominant:支配的な
feud:確執、争い
tangible:触れて感知できる、実体的な
splinter:破片
charismatic:カリスマ的な

その他

ゴリラの集団にはリーダー的存在であるシルバーバックがいるが、このシルバーバックの決め方は体の大きさなどは関係ないとされている。子どもや雌でも、雄に抗議したりすることもあるのだ。だから、パワーだけではなく優しさで群れのメンバーの期待に応えるように振舞わなければならない。もちろんシルバーバックが力を持っていることは一目瞭然だが、その力を行使することはほとんどなく、力を群れで押しえつけないことはない。これはほかの動物の多くがボス型をとっているのに対して、リーダー型をとっていることがわかる。